

同じ志を持つ自動車教習所とともに 地域に交通安全を広げていきます

交通安全の生涯教育をサポートする

交通安全教育は、生涯教育として地域の中で長く継続し、展開していくことが求められています。Hondaは、地域で交通安全教育に主体的に取り組まれている自動車教習所と連携し、交通安全をさらに広げ、定着させる活動をスタートさせました。

自動車教習所は、地域で交通安全教育を行うセンターとしての役割が期待されています。社会のニーズに応え、運転免許取得時教育だけでなく、免許を持った方々や、子どもから高齢者まで、交通安全の生涯教育に真剣に取り組んでいる教習所も増えています。

同じ志をもつ自動車教習所と連携することによって、より広いエリアで、地域の交通安全に貢献していくことが可能になりました。

Hondaは、交通安全教育プログラム、教材の提供、指導者のレベルアップ教育などで協力し、教習所が主体的に行う交通安全活動をサポートしています。現在13の自動車教習所との業務提携を結んで、活動を進めています*。

Hondaの交通安全教育プログラムを活用

提携先の1つである長野県のドリームモータースクール様は、企業ドライバー、高校生、高齢者の交通安全教育など地域に開かれた交通安全教育を行っています。提携を機に、Hondaの教育機器や交通安全教育プログラムを活用した新しい試みを採用しました。

卒業を控えた地元の高校3年生を対象にしたプレドライバー教育では、指導員が運転する車に同乗しての

急ブレーキ体験、携帯電話を使いながらの自転車の危険体験など参加体験型の講習を実施しています。その中でHondaの自転車シミュレーターを使った危険予測トレーニングを取り入れました。さらに、四輪販売会社の営業スタッフの交通安全研修に、エコドライブのトレーニングを加えました。燃費計を使ってエコドライブの効果を確認するとともに、急加速、急ブレーキをしない運転が、安全につながることを体験的に学ぶことができます。

一緒に教育ソフトを開発

青森モータースクール様では、高校生向け交通安全教育プログラムを使って、地元の高校を対象に授業の一環として高校生安全教室を行ってきました。その中で、Hondaの自転車シミュレーターの新しい活用法にチャレンジしています。

シミュレーター教育では受講者1人ひとりが危険を安全に体験しながら、危険予測力を高めることができます。この機能を、学校や地域が行う集合教育の場において、効果的に活用するための試みを協力して行いました。生徒の1人にシミュレーターで携帯メールや傘差し運転をしてもらい、その映像を見ながら、コーチング手法を使って生徒同士が話し合いを進め、危険に気づかせるというものです。

教習所と連携する中で、新しい教育プログラムの開発などにチャレンジしていくこともできるようになります。

* 2008年10月現在

高校生安全教室(青森モータースクール)





ドリームモータースクール様のセーフティフェスティバルでは、自転車シミュレーターを使ってお子様に危険予測トレーニングを体験していただきました。



エコドライブの研修では、環境にやさしい運転が安全につながることを学んでいただけます。



青森モータースクール様では、自転車シミュレーターを使った高校生安全教室を実施しました。モニターの映像をプロジェクターで投影し、コーチング手法を活用して話し合いを進めることで、多人数での研修を行っています。



提携教習所



(2008年10月現在)